

事業番号	09 03 07	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	環境にやさしい農業総合対策事業			担当課	部局	農政部	
					課・室	農業技術課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			実施期間	H19 ~	

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 多くの農業者が信州のすばらしい自然環境を大切にするという意識のもと、環境にやさしい農業に取り組むことを目指す。 産地や農産物直売所等において組織的に取り組むことにより環境にやさしい農業の拡大と農業者の取組レベルの向上を目指す。 GAP(農業生産工程管理)への組織的な取り組みを拡大し、より一層適正な農業生産を目指す。 		
現状(予算編成時)	<p>○消費者の「食の安全」や「環境」に対する意識は年々高まりを見せており、これらに対応した環境農業の拡大が必要。</p> <p>○本県においても、「エコファーマー認定制度」や「信州の環境にやさしい農産物認証制度」などにより環境負荷低減に取り組む事例はみられるが、面的・組織的な広がりまでには至っていない。</p> <p>○農産物の安全性を確保するためのGAPへの取組みはJAグループを中心に進んでいるが、直売所等の取組みが遅れている。</p>		
県が関与する理由	<p>県でなければ実施不可(法令等義務)</p> <p>県民との協働による実施: 実施は困難</p>	<p>【左記の説明、根拠法令等】</p> <p>・エコファーマー及び有機農業の推進、肥料の登録・更新については、法律に基づき県が実施することとなっている他、環境にやさしい農業とGAPへの取り組みの拡大については、広域で県下統一的な認証制度や基準に基づき取組むことが効果的である。</p> <p>長野県食と農業農村振興計画、消費・安全対策交付金実施要綱、持続農業法、有機農業推進法、肥料取締法、農業生産工程管理(GAP)の共通基盤に関するガイドライン</p>	
成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)		
	<p>○信州の環境にやさしい農産物認証面積の拡大 1,627ha(H26)→1,900ha(H27)</p> <p>○生産者GAPに取り組むJA生産部会・農産物直売所の割合 16%(H25)→28%(H27)</p> <p>○有機農業技術研修会(講座)への参加者が、有機農業に取り組む割合 25%(H25)→25%以上(H27)</p>		
	② 事業内容 (単位:千円)		
	項目	実施方法	H27事業実績
			H27 (当初) H27 (決算) H28 (当初)
1 環境にやさしい農業実践プロジェクト(奨励・拡大)	直接	<ul style="list-style-type: none"> IPM(総合的病害虫・雑草管理)技術集の策定と周知 環境にやさしい農業実証ほの設置 環境にやさしい農業推進研修会の開催 実践直売所の育成(緊急雇用創出基金事業) 	21,002 20,850 4,762
2 GAPの推進	直接 補助金	<ul style="list-style-type: none"> GAP推進大会の開催 集荷施設GAP研修会の開催(JA全農長野) 産地におけるGAPの推進(JA、生産者団体等) 	1,960 125 566
3 有機農業参入・実践支援	直接	<ul style="list-style-type: none"> 技術支援・技術向上のための研修会等の開催 消費者・実需者へ理解促進・販路開拓等 	800 303 477
4 肥料登録・更新	直接	新規登録、有効期間更新	89 4 89
		合計	23,851 21,282 5,894

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	8,312	23,986	23,851	5,894
	補正予算	-787	-1,327	-1,900	
	合計(A)	7,525	22,659	21,951	5,894
	一般財源	4,860	5,029	5,440	5,041
	県債				
	国庫支出金	2,583	3,005	814	764
	その他	82	14,712	15,697	89
	決算額(B)	5,975	21,541	21,282	
概算人件費	職員数(人)	5.00	5.00	5.00	5.00
概算事業費(B+A+C)	概算人件費(C)	41,290	41,290	41,380	41,380
		47,265	62,831	62,662	47,274

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
信州の環境にやさしい農産物認証面積	1,627ha	1,900ha	1,763ha	未達成	2,040ha
生産者GAPに取り組むJA生産部会・農産物直売所の割合	19%	28%	20%	未達成	34%
講座参加者が新規に有機農業に取り組む割合	26.7%	25%	27%	達成	25%以上

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 信州の環境にやさしい農産物認証面積について、目標をやや下回ったものの、生産者の取組意識は高まっており面積は年々増加している。 GAPに取り組むJA生産部会は9割を超えたが、農産物直売所については、着実に増えているものの、目標を達成することはできなかった。 有機農業基礎技術講座では、土づくりや病害虫防除に参加者の関心が高く、高い評価をいただくことができた。有機農業に取り組む不安が少なからず解消できたことで、参加者の有機農業取組割合については、目標を達成できた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<p><input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施</p> <p>環境にやさしい農業は長野県農業のベースであるとの意識のもと、引き続きJA生産部会や農産物直売所等における組織的な取組を推進する。</p> <p>今後も県全体でのGAPへの取組を推進するとともに、オリンピック・パラリンピック東京大会の食材提供や輸出拡大に向けた国際的に通用するGAP認証の取得等に取り組む。</p> <p>有機農業の推進を図るため、基礎技術講座の開催により栽培技術支援を進めるとともに、「環境フェア」で有機農産物のテスト販売を行う等、販路拡大を進める。</p>
--------------------	---